

# 千葉県東上総児童相談所一時保護所 第三者評価結果報告書

種別	一時保護所
①第三者評価機関名	
一般社団法人Riccolab.	
②施設名等	
名称:	千葉県東上総児童相談所一時保護所
施設長氏名:	青木 聡美
③評価日程	
利用者調査:	2023年10月中旬～11月上旬
自己評価:	2023年10月中旬～11月上旬
訪問調査:	2023年12月22日(金)
④総評	
【良い点】	
○「こども会議の開催等、子どもが意見表明する機会を増やしており、より多くの意見の把握につながっている」 子どもの意見や要望を把握する手法として、これまで日誌や日頃の職員とのコミュニケーションを取る場面がある他、隔月で生活アンケートを実施してきている。加えて、振り返りアンケートを毎週実施したり、こども会議を今年度からスタートする等、より多くの方法を用意することで、意見表明の機会を増やしている。実際に、子どもから多くの声が寄せられており、取り組みの成果があがっている。	
【良い点】	
○「衣服整理の時間を子どもと職員の大切な時間として位置づけ、子どもの自己肯定感の向上や、職員との関係づくり、子どもの生活を受容する契機等につなげている」 週に1度、衣服整理を子どもと職員が一対一で行っている。洋服の好みに対応することにより、子どもたちの主体性の醸成、自己肯定感の向上等を意図した「子どもと職員の大切な時間」として位置付けられている。保護所から提供した衣類でも自分の衣類として認識してもらい、例えば、ネグレクトにより大切にされなかったという思いを持つ子どもが大切にされていると感じられる重要な場と時間になっている等、東上総児童相談所一時保護所が大切にすることが見えてくる支援である。	
【更なる改善点】	
●「子どもの健康管理に必要とされる職員を配置することで、健康維持に向けた取り組みの充実が望まれる」 子どもの健康管理は、1日2回の検温、幼児は排便状態を記録、朝会で健康状態を把握して、児相所属の看護師に状況を伝えている。必要に応じて保護所に来てもらい処置及び通院等の対応をしている。ストマや導尿等の必要な子どもへの対応は、病院で研修を受けて対応しているが、必要に応じて児相保健師に指導に来てもらっている。子どもたちが健康で生活するために、一時保護所の看護師を募集はしているが配置できていない。また、保健師は3カ所の児童相談所を兼務しており常駐はしていない。一時保護所の看護師と東上総児童相談所専従の保健師の配置に期待したい。	
【更なる改善点】	
●「居室内で子ども一人ひとりのプライバシーを確保するため、さらなる工夫をしていくことが期待される」 一時保護所では15名定員のうち、居室を男の子用と幼児用、女の子用の多床室を中心に、子どもの状況に応じて、個室で暮らす環境を用意して受け入れている。なお、多床室については仕切り等がなく、例えば、着替えの際に他の子どもに見られないよう、居室から離れた脱衣所で行うことを促している。今後は、居室内で子ども一人ひとりのプライバシーを確保するため、さらなる工夫をしていくことが期待される。	
⑤第三者評価結果に対する施設のコメント	
力を入れて取り組んできた『こどもの意見を聴き、生活に取り入れる』ということが、こどもにも職員にも当たり前になりつつあることが一定の評価を受ける中で実感できたことが良かった。さらなる改善に取り組むモチベーションとなった。 指摘された事項については、ハード面等主務課と協働して取り組むべき課題が大きいですが、現場でもできる工夫を重ねていきたい。	

<b>実施状況</b> <b>【判断基準】</b> ごとに、○、△、× のいずれかを選択  <b>評価基準</b> s: 他一時保護所が、参考にできるような取組みが行われている状態 a: よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態 b: 「a」に向けた取組みの余地がある状態 c: 「b」以上の取組みとなることを期待する状態
--

⑥第三者評価結果（別紙）

（別紙）

## 第三者評価結果（一時保護所）

共通評価基準（64項目）

### I 子ども本位の養育・支援（14項目）

#### 1 子どもの権利保障（NO.1~11）

[No. 1] 子どもの権利について、子どもに対して適切に説明されているか		第三者 評価結果
[No. 1]	子どもの権利について、子どもに対して適切に説明されているか	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利について、子どもの年齢や理解に応じて、分かりやすく説明しているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利が侵害された時の相談先及びその方法を説明しているか	○
【コメント】		
一時保護を開始するにあたり、権利ノートや大切なお知らせ、一日の生活日課等を文書で用意しており、それぞれ子ども自身が進んで理解しやすい表現となるように工夫している。ひらがな表現のものを用意したり、情報量を簡潔にまとめラミネート加工し、子どもへ示しながら、丁寧な説明に努めることで、十分な理解が得られるように取り組んでいる。		
[No. 2] 子どもの意見等が尊重される仕組みがあるか		第三者 評価結果
[No. 2]	子どもの意見等が尊重される仕組みがあるか	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの意見・要望・苦情等が適切に表明されるような配慮を行っているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの意見を尊重して一時保護等の質の向上を図る取組が行われているか	○
【コメント】		
日記のやりとりや朝の会の実施等、毎日の生活習慣の中で子どもが意見表明する機会を用意している他、毎週の振り返りアンケートや隔月の生活アンケート、さらには今年度からこども会議をスタートさせて子ども集団として意見交換できる機会も用意しながら、さらなる充実を図っている。		
[No. 3] 保護開始にあたり、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
[No. 3]	保護開始にあたり、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	a
	<input type="checkbox"/> 一時保護の理由や目的、一時保護所での生活等について、子どもの年齢や理解に応じて分かりやすく説明し、理解を得ているか	○
	<input type="checkbox"/> 不服申立ての方法等について、保護者に示しているか	○
【コメント】		
保護開始にあたり、インテークの際に理由や目的を子どもへ説明している他、ケースによっては一時保護所の職員も面談に同席し、説明内容を共有した後、生活場面で、適宜、改めて説明する機会を持つ等により、子どもの理解が進むようにしている。保護者に対しても、不服申し立て方法等も含め、説明する流れを明確にして取り組んでいる。		

[No. 4] 保護期間中に、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
[No. 4]	保護期間中に、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	a
	保護期間中に、適宜子どもに対して、現状や見通しについて説明をしているか	○
【コメント】		
一時保護された後に、職員が子どもに対して「しあわせになるためにここで過ごす」等の表現を用いて説明している。また、子どもに一時保護解除の見通しを伝える際にも、「しあわせに暮らせるようになったら帰れる」等、具体的な事柄を伝えることが難しい場合についても、子どもの気持ちに配慮した説明となるように努めている。		
[No. 5] 保護解除について、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか		第三者 評価結果
[No. 5]	保護解除について、子どもに対して適切に説明し、合意を得ているか	a
	<input type="checkbox"/> 一時保護の解除にあたっては、子どもの意向、意見や気持ちを十分に聞いているか	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等の意見等を踏まえ、一時保護解除時期、解除後の生活等について十分に検討しているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除について、伝える時期に十分に配慮しているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除の理由、解除後の生活等を十分に伝え、子どもが納得できるよう対応しているか	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託や施設入所等に移行する子どもには、新たな養育場所に関する情報提供、心のケア等を行っているか	○
【コメント】		
一時保護解除に向けて、職員が保護者面接に同席し、子どもの様子を伝え家庭復帰がスムーズに進められるように取り組んでいる。また、施設入所の場合には、事前に知りたい事や聞きたい事を日記等で子どもから把握した後に見学したり、入所先の職員と面談する等により、不安解消や納得性が高まるように努めている。		
[No. 6] 保護解除に向けて、子どもに対して必要な支援を行っているか		第三者 評価結果
[No. 6]	保護解除に向けて、子どもに対して必要な支援を行っているか	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが年齢に応じてSOSが出せるよう、エンパワメントを行っているか	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護解除後も、相談や支援をしていくことを分かりやすく伝えているか	○
【コメント】		
一時保護解除をめぐる子どもの不安やストレス解消を目指して、解除の時期をできる限り早めに伝えて心の準備ができるようにしている他、退所時アンケートを実施して心境等を把握している。また、SOS先を子どもへ伝えたり、通所指導の場合には、解除後も職員と話す機会を作っている。なお、今後、さらなる充実を目指して退所時シートの作成を検討している。		
[No. 7] 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 7]	外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は適切に行われているか	b
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限は、子どもの安全の確保が図られ、かつ一時保護の目的が達成できる範囲で必要最小限となっているか	△
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限を行う場合には、子どもの安全確保のため必要である旨を子どもや保護者に説明しているか	○
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等に関する制限を行う場合には、理由や経過等に関する記録を留めているか	△
	<input type="checkbox"/> 外出、通学、通信、面会、行動等の制限が不要な子どもについて、不要な制限がされないよう一時保護委託等を含めた十分な検討が行われているか	○
【コメント】		

子どもの安全を最優先することから、自由な外出や通学、通信を認めることは難しい一方で、修学旅行や卒業式などの学校行事や、定期テストを学校で受ける場合等について、行程表を作成して安全性等について十分な検討を経て、実現している。

[No. 8] 被措置児童等の虐待防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 8] 被措置児童等の虐待防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待があった場合に、すぐに職員に相談できること、児童相談所等に連絡ができることについて、あらかじめ子どもに説明しているか	○
<input type="checkbox"/> 万一、子どもの権利が侵害される事態が生じたときの対応は適切に行われているか	○
<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の防止に努める取組等を行っているか	○

【コメント】

被措置児童等虐待防止に向けては、コンプライアンス研修等の内部研修で各職員が学び、理解を深めている。会計年度職員についても、個別に学ぶ機会を用意することで、子どもに直接関わる職員全員が虐待防止について十分に理解し、子どもとの適切な関わりができるように取り組んでいる。

[No. 9] 子ども同士での暴力等の防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 9] 子ども同士での暴力等の防止に努めるとともに、発生時の対応は適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害がある場合は、すぐに職員に相談することをあらかじめ伝えているか	○
<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害がある場合に、すぐに対応できる体制を確保しているか	○
<input type="checkbox"/> 子ども同士での権利侵害など、子どもの健全な発達を阻害する事態の発生防止のための取組を行っているか	○

【コメント】

子ども同士での権利侵害が生じないように、必要に応じてグループ指導等を行い、子どもが自ら適切な関わり方を理解し行動できるように促している。また、昨年度の終わり頃から導入された振り返りシートでは、嫌なことを言われたり、されたりしていないか等の項目を盛り込み実施し、職員が結果を把握し、適宜、対応している。

[No. 10] 思想や信教の自由の保障が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 10] 思想や信教の自由の保障が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 文化、慣習、宗教等による食習慣や日課の違いなどを尊重した対応をしているか	○

【コメント】

子どもや保護者の信教の自由、思想の自由を保障するために、それぞれ申し出があれば対応する姿勢で受け入れている。なお、これらの領域については、日課や食習慣等で、配慮が必要なケースは生じていない。

[No. 11] 性的なアイデンティティへの配慮が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 11] 性的なアイデンティティへの配慮が適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 性的なアイデンティティに配慮した対応をしているか	△

【コメント】

LGBTQをはじめ、子どもの性に関するアイデンティティについて配慮するために、子どもの呼称を、最初は「～さん」付けとすることを基本に、支援場面でも男女別ではなく個別に対応するように心がけている。なお、学びの機会が十分確保されていないため、今後、関連する研修へ一時保護所の職員を派遣し、専門性を高めていくことが期待される。

2 養育・支援の基本 (NO.12~14)

[No.12] 子どもとの関わりにおいて、子どもが安全感・安心感・信頼感を持てる養育・支援を行っているか		第三者 評価結果
[No.12]	子どもとの関わりにおいて、子どもが安全感・安心感・信頼感を持てる養育・支援を行っているか	b
	□一時保護の受入れ可否を子どもの安全の視点で判断しているか	○
	□子どもへの接し方、対応は適切であるか	○
	□子どもが安全感や安心感、信頼感を持てる保護や支援を行っているか	○
	□全ての子どもが被害を受けている、コミュニケーションに問題がある可能性を考慮したケアが行えているか	○
	□プライバシーに配慮すべき場面では、適切な対応を行っているか	△
【コメント】		
子どもが安心・安全な環境の中で生活できるよう、職員が居室へ入室する場合は了解を得る等の配慮をしている。一方で、居室が男女別と幼児用の多床室を基本に、それぞれ畳部屋となっており、個別の仕切りなどは用意されていないため、着替え等を居室内で行うことはプライバシーの観点から難しい環境であることを一時保護所としても課題と認識している。今後、居室内のレイアウトを工夫し、居室内でプライバシー空間が確保でき、子どもが安心して生活するための取り組みが期待される。		
[No.13] 子どものエンパワメントにつながる養育・支援を行っているか		第三者 評価結果
[No.13]	子どものエンパワメントにつながる養育・支援を行っているか	a
	□「あなたは大切な存在である」ことを言葉・行動でメッセージとして伝えているか	○
	□表現の機会を多くつくり、それを受け止められる体験を通して、自己表現を促しているか	○
【コメント】		
子どもの作品を一時保護所内に貼り出すこと等を通して、がんばった取り組みを認め、安心感に包まれるように取り組んでいる。また、朝の会や日記、振り返りシート、こども会議の開催等で、子どもが意見表明したり意見交換する機会を多く用意し、自己肯定感の醸成等につながることを目指して取り組んでいる。		
[No.14] 子どもからの聞き取り等にあたり、子どもへの配慮や説明などが適切に行われているか		第三者 評価結果
[No.14]	子どもからの聞き取り等にあたり、子どもへの配慮や説明などが適切に行われているか	a
	□子どもからの聞き取りにあたっては、子どもの人権等への配慮を十分に行っているか	○
	□子どもから聞いた話を、職員間及び担当児童福祉司と共有することを説明しているか	○
【コメント】		
子どもからの聞き取りを行う場合には、事前に職員間で打ち合わせを行い、具体的な内容や方法について協議を行い進めている。また、勤務経験が浅い職員が多い中で、先輩職員と一緒に聞き取りを行う等により、スキルの向上や習得を目指して取り組んでいる。		

## II 一時保護の環境及び体制整備（15項目）

### 1 適切な施設・環境整備（NO.15~17）

[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか	第三者 評価結果
[No. 15] 一時保護所としての設備運営基準は遵守されているか	b
<input type="checkbox"/> 子どもの保護ができる場が用意できているか	○
<input type="checkbox"/> 開放的環境における対応が可能となっているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護所の設備及び運営基準は、児童養護施設について定める設備運営基準を遵守しているか	○
<input type="checkbox"/> プライバシーに配慮した居室空間が提供されているか	△
【コメント】	
一時保護所の定員15名で、運営に必要な職員数が確保されている。ただし、構造上、多床室が中心で個室の提供がニーズに十分対応できない状況や、年間を通して定員を上回る状態が慢性化しており、2倍以上の人数となる場合も見受けられる。今後、職員体制や居住空間について、実際の子どもの人数に見合ったものとしていくことが望まれる。	
[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか	第三者 評価結果
[No. 16] 一時保護所は、個別性が尊重される環境となっているか	b
<input type="checkbox"/> 個別性が尊重される日課・ルール・環境となっているか	○
<input type="checkbox"/> 必要な子どもに対し、個室を提供できる環境があるか	△
【コメント】	
高校生について、通常と異なる日課としたり、個室や親子訓練室等が空いていれば一人で過ごせる環境を提供する等、取り組んでいる。ただし、多床室より個室での生活の方が相応しいと判断される子どもへ、個室を提供できる環境には至っていない。	
[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか	第三者 評価結果
[No. 17] 一時保護所内の生活環境が適切に整備されているか	a
<input type="checkbox"/> 安心して生活できる環境が確保されているか	○
<input type="checkbox"/> 日常的に清掃等がされ、衛生的な環境が維持されているか	○
<input type="checkbox"/> 家庭的な環境となるような工夫がされているか	○
<input type="checkbox"/> 生活環境として必要な設備や什器備品等が整備されているか	○
<input type="checkbox"/> 必要な修繕等が行われているか	○
<input type="checkbox"/> 生活場面の中で、どんな外風景が見えるのか	○
【コメント】	
限られた空間の中で、子どもが安心できる生活環境となるために、子どもと一緒に環境整備を検討する時間を持ったり、掃除当番や大掃除の時間等を持ち、快適で清潔な空間作りに皆で取り組んでいる。浴室の脱衣所等に床暖房を設置したり、適宜、修繕も行いながら、快適性を高めている。	

## 2 管理者の責務 (NO. 18)

[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか	第三者 評価結果
[No. 18] 管理者としての役割が明確になっており、その責務が全うされているか	b
<input type="checkbox"/> 管理者が一時保護所の管理・運営をリードするための環境が整っているか	○
<input type="checkbox"/> 管理者のリーダーシップのもとでの管理運営が行われているか	○
<input type="checkbox"/> スーパーバイズができているか	△
【コメント】	
<p>事務所内で業務の流れを明確にしたり、チャットツール（児童相談所内の情報共有ICTシステム）や引継ぎノート等で各職員が管理職へ相談できる体制を構築している。また、課内会議やカンファレンスの際に、適宜、スーパーバイズを受けている。なお、夜勤指導が行えるスーパーバイザーが配置されていないことを課題と認識しているため、職員が困った時や判断に迷った際に直接相談でき、指示が受けられる体制の実現が期待される。</p>	

## 3 適切な職員体制 (NO. 19~25)

[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか	第三者 評価結果
[No. 19] 一時保護所として、必要な適切な職員体制が確保されているか	b
<input type="checkbox"/> 受入をする子どもの人数、年齢、状況に応じた、必要な職員が配置されているか	△
【コメント】	
<p>運営基準を満たす職員体制である一方、幼児と学齢児と分けて対応したり、診断指導課の看護師との連携、歯科医や小児科医による健診の実施、学習指導や警察と連携する場面等で対応可能な職員を配置している。ただし、定員超過が慢性化している中で、実情に合った職員の確保が期待される。</p>	
[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか	第三者 評価結果
[No. 20] 各職種の役割や求められる専門性・能力を考慮した人員配置が行われているか	b
<input type="checkbox"/> 各職種の役割や権限、責任が明確になっているか	○
<input type="checkbox"/> 専門性を要する役割には、必要な能力等を有する職員が配置されているか	△
<input type="checkbox"/> 相談援助活動の一貫性を保つよう努めているか	○
【コメント】	
<p>子どもの生活を支える場面のうち、医療面の領域について個別対応が必要な状況がうかがえる。今後、看護師や保健師等の安定的な配置に向けて取り組むことで、支援ニーズへの対応力を高めていくことが期待される。</p>	

[No. 21] 情報管理が適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 21] 情報管理が適切に行われているか		a
□個人情報適切に取り扱われているか		○
□情報の重要性や機密性を踏まえた管理を行っているか		○
□書類や記録等が適切に管理・更新されているか		○
□子どもに関する情報について、外部機関と共有する必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得ているか		○
□情報管理に関する職員の理解・周知の取組みを行っているか		○
【コメント】		
個人情報保護の取り組みについては、県の個人情報関連のマニュアル等に基づき進めており、適切な取り扱いとなっているかをチェックしたり、強化月間を設定して職員への注意喚起を図る等、徹底している。個人情報外部へ持ち出す場合はほとんどない状態の中、漏えい防止対策を講じている。		
[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 22] 職員の専門性の向上及び意識共有のための取組が適切に行われているか		a
□一時保護に従事するものとして、守るべき法・規範・倫理等を全職員が理解するための取組が行われているか		○
□職員の専門性の向上を図るための計画的な取組が行われているか		○
□職員一人ひとりの育成に向けた取組が実施されているか		○
□職員間での指導・育成を行う仕組みがあるか		○
【コメント】		
職員が遵守すべき事項の理解浸透や、専門性向上を図るために、年間で研修計画を立案し、定期的な学びの機会を用意している。今年度も、幼児への関わり方や感染症対策等、テーマを決めて学んでいる他、初歩的なことも再確認することを重視しながら、円滑な業務遂行や子どもへの関わり方の標準化等に努めている。また、スケールメリットをいかして県内の保護課職員との間で交換研修も行っている。		
[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか		第三者 評価結果
[No. 23] 職員間での情報共有・引継等が適切に行われているか		b
□職員間での情報共有や引継等の仕組みがあるか		△
□職員間で共有・引継する情報の内容は適切か		○
【コメント】		
職員間の情報共有は、引継ぎノートやチャットツール等を通じて行われている。一人1台供与されたデジタルデバイスにより検討課題を漏らさず確認している。ただし、引継ぎノートは紙面であり、複数職員の同時共有・確認ができない。デジタルコミュニケーションを前提とした生活を送ってきた職員が増えていく中で、情報共有のためにICTを利用し効率化を更に進める余地は残されている。		

[No. 24] 児童福祉司や児童心理司との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 24] 児童福祉司や児童心理司との連携が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 一時保護所は、児童福祉司と密接な連携が保てる範囲に設置されているか	○
<input type="checkbox"/> 入退所時や入所中の調査、診断、支援等について、児童福祉司・児童心理司やその他の各部門と十分な連携を図っているか	○

【コメント】

チャットツール等により、一時保護所職員と福祉司、心理司との連携がなされている。また、保護管理表は1週間の子どもの様子が記録され、その記録をもとに定例会議に報告がなされている。保護所への福祉司、心理司の頻回な訪問もなされており、連携そのものがルーティンワークとなっているため、十分な連携が図られている。

[No. 25] 職場環境としての法令遵守や環境改善に取り組んでいるか	第三者 評価結果
[No. 25] 職場環境としての法令遵守や環境改善に取り組んでいるか	a
<input type="checkbox"/> 適正な就業状況が確保されているか	○
<input type="checkbox"/> 職員が働きやすい職場環境づくりの取り組みがなされているか	○

【コメント】

ストレスチェックの実施、夜勤者への特別健康診断を行っている。またメンター制度により1年目の職員が、ブラザーシスター制度により3年目までの職員が、経験年数の多い職員に相談できる体制を敷いている。これに加えて、バディシステムを採用し、難しい判断を一人に負わせない工夫をしている。ただし、子どもの感染症対応には職員数に余裕がないため、感染症の発生により時間外対応が増えてしまい、一時的に職員の業務量負荷が高くなることもある。

4 関係機関との連携 (NO. 26~29)

[No. 26] 医療機関との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 26] 医療機関との連携が適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 必要な場面で、医療機関からの協力が得られているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じ、児童福祉司や生活支援担当者、児童心理司、医師などのチームケアを行える体制があるか	△

【コメント】

現在、嘱託医として精神科医が子どもたちを診ており、子どもたちの精神面について医療面で支える体制ができています。しかしながら本児童相談所の所在地の特性のため、近隣の医療機関が少なく、夜間休日医療を必要とした際の対応に苦慮しており、看護師の常勤化が強く望まれている。また精神科医の常勤配置により更なる子どもへの精神面を支援する体制づくりを図りたいと考えています。

[No. 27] 警察署との連携が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 27] 警察署との連携が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 警察署との連携が日頃から行われているか	○
<input type="checkbox"/> 警察の面接等にあたっては、子どもの成長・発達状況や心身の負担に十分に配慮するよう警察と十分に調整を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもに対し、警察が面接等を行う場合には、可能な限り協力しているか	○

【コメント】

夜間などの緊急受け入れが円滑に進むように警察との間で、受け入れ時の確認項目が共有され、その項目に沿って各種情報を教示してもらえるように対応している。また、そのような緊急状況があることを想定し、新規の職員には2ヵ月程度は一人での夜勤をさせていない。警察との連絡会も開催され、年に一度は県警本部も参加する連絡会を開催したり、会計年度職員に警察OBを採用したりする工夫を図っている。

[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	第三者 評価結果						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 191 1460 267">[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか</td> <td data-bbox="1460 191 1591 267">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 267 1460 343"> <input type="checkbox"/> 移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか         </td> <td data-bbox="1460 267 1591 343">○</td> </tr> </table>	[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	a	<input type="checkbox"/> 移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか	○			
[No. 28] 施設や里親等との連携が図られているか	a						
<input type="checkbox"/> 移行前に、子どもが安心感を持てるように配慮しているか	○						
【コメント】							
保護所職員が入所や委託が決まった子どもに同行して施設訪問や里親面会などを行い、子どもたちのストレスを低減する工夫をしている。また、千葉県全児童相談所と施設との連絡会が年に1度設定され、四半期ごとには社会的養護関係施設の施設長との連絡会を東上総児童相談所として実施している。							
[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	第三者 評価結果						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 631 1460 708">[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか</td> <td data-bbox="1460 631 1591 708">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 708 1460 784"> <input type="checkbox"/> 必要な関係機関との連携を行う仕組みがあるか         </td> <td data-bbox="1460 708 1591 784">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 784 1460 861"> <input type="checkbox"/> 関係機関とのネットワークを有効に活用できているか         </td> <td data-bbox="1460 784 1591 861">△</td> </tr> </table>	[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	b	<input type="checkbox"/> 必要な関係機関との連携を行う仕組みがあるか	○	<input type="checkbox"/> 関係機関とのネットワークを有効に活用できているか	△	
[No. 29] 子どもの養育・支援を適切に行うために、必要な関係機関との連携が適宜行われているか	b						
<input type="checkbox"/> 必要な関係機関との連携を行う仕組みがあるか	○						
<input type="checkbox"/> 関係機関とのネットワークを有効に活用できているか	△						
【コメント】							
児童家庭支援センターに子どもの保護解除前に解除後の支援計画を説明し、地域支援（在宅支援）時の役割分担を図っている。また子どもの親（大人）側には中核地域支援センターとの連携を行っている。一時保護所として保護解除後に関係機関、及び家庭復帰した子どもへのアウトリーチを行いたい職員数が十分ではないため、現在は一時保護所職員の参加はできていない状況である。							

### Ⅲ 一時保健所の運営（25項目）

#### 1 一時保護の目的（NO. 30）

[No. 30] 一時保護の目的に即した理念・基本方針となっているか	第三者 評価結果
[No. 30] 一時保護の目的に即した理念・基本方針となっているか	a
<input type="checkbox"/> 理念・基本方針が職員に周知されているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護の目的（安全確保・アセスメント）に即した理念・基本方針となっているか	○
【コメント】	
一時保護の目的については、全職員の新任研修や、一時保護所職員に向けての管理職による講義・説明により理解の促進を図っている。その際には保護計画、一時保護ガイドライン等を使用しての説明を行い、研修を通じた理念や基本方針を理解する場を大切にしている。	

#### 2 一時保護所の運営計画等の策定（NO. 31）

[No. 31] 一時保護所の年度単位での事業計画の策定や目標設定を行っているか	第三者 評価結果
[No. 31] 一時保護所の年度単位での事業計画の策定や目標設定を行っているか	b
<input type="checkbox"/> 事業計画が策定されているか	○
<input type="checkbox"/> 事業計画に基づく取組みが実施されているか	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の策定と評価、見直しの仕組みがあるか	○
<input type="checkbox"/> 策定にあたって、児童の意向や職員の意見、地域の福祉ニーズ等を反映できる仕組みがあるか	△
【コメント】	
年度ごとの業務計画書を東上総児童相談所として策定している。また、一時保護所の支援評価票を用いて年2回の自己評価を行い、毎月の会議では業務改善を検討している。ただし、策定にあたり子どもの意向や職員の意見の反映がされているか否か不明だと職員自己分析のアンケートでは結果が出ており、子どもの権利擁護を進めるうえでも今後の課題となってくると思われる。	

#### 3 一時保護の在り方（NO. 32）

[No. 32] 緊急保護は、適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 32] 緊急保護は、適切に行われているか	b
<input type="checkbox"/> 閉鎖的環境での保護期間が必要最低限となるよう適切に判断する仕組みがあるか	△
<input type="checkbox"/> 緊急保護を行うにあたり、子どもへの説明が行われているか	○
【コメント】	
緊急一時保護は適切な実施がなされていると評価可能だが、定員超過、保護期間の長期化が問題になっていることが今後の課題となっている。長期化については受け入れ施設や里親の数が措置すべき児童数に対して少ないことが大きな要因となっている。東上総児童相談所の一時保護所の課題というよりも、全県を上げた構造的な社会的養護の体制改革が必要だと思われる。	

4 一時保護所における保護の内容 (NO. 33~41)

[No. 33] 一時保護所における生活面のケアは、適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 33] 一時保護所における生活面のケアは、適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 個々の子どもの状態にあわせて、生活全体の場面で生活面のケアを行っているか	○
<input type="checkbox"/> 日課構成は適切か	○
<input type="checkbox"/> 一時保護所での生活を通して、徐々に生活習慣が身につくよう支援しているか	○
【コメント】	
日課表があり、対応を個別化している。一方で、個室の不足による中高生への個別化が難しく、幼児が多く現状の職員数では対応しきれないために幼児への個別化も難しい状況が続いている。そのため、一時保護所職員自らが工夫した、衣服整理表、けが報告書、ヒヤリハット報告書により引継ぎを綿密に行うことで生活面のケアの質を維持しようとしている。	
[No. 34] レクリエーションのための環境やプログラム等が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 34] レクリエーションのための環境やプログラム等が適切に提供されているか	a
<input type="checkbox"/> レクリエーションプログラム、自由に遊びのできる空間、読書や音楽鑑賞等を楽しむことのできる環境が提供されているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもの年齢を考慮の上、スポーツ活動及び室内遊戯等を計画し、子どもの希望に応じて参加させるよう配慮しているか	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じ、事故防止に留意しつつ、野外活動等を実施することにより、子どもの心身の安定化等に取り組んでいるか	○
<input type="checkbox"/> 遊具や備品について、定期的に点検しているか	○
【コメント】	
日々の工夫としておやつ時間後の自由時間の設定や休日は終日自由時間として設定する等して、読書やゲームなどができるようにしている。また所外指導として県内の観光地を全体で訪れるなどしてレクリエーションの質も高めている。更に、近隣の体育館を週に1回予約して利用している。	
[No. 35] 食事が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 35] 食事が適切に提供されているか	a
<input type="checkbox"/> 1日3食の食事が提供されているか	○
<input type="checkbox"/> 食事の安全・衛生が確保されているか	○
<input type="checkbox"/> 食事アレルギーや個々の子どもの状態等に配慮した食事が提供されているか	○
<input type="checkbox"/> おいしく食事をするための配慮がなされているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもが食事を楽しめるための工夫がなされているか	○
【コメント】	
所内調理をしているため、温かい状態で食事をとることができている。また、お代わりも職員が積極的に子どもたちに声を掛けて、食べやすい環境を整えている。さらに、アンケートを実施し希望メニューがあれば給食会議にて検討している。食を大切にする職員の意図が見えてくる一方で、保護される子どもの人数が規模よりも多いため、調理設備等が対応しきれないことがある。冷凍庫を新たに導入する等して対応しているが、所内調理を維持する上で今後の改善が望まれる。	

[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 191 1460 267">[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか</td> <td data-bbox="1460 191 1591 267">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 267 1460 343">□衣服の清潔は保たれているか</td> <td data-bbox="1460 267 1591 343">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 343 1460 420">□衣習慣が身に付くように支援しているか</td> <td data-bbox="1460 343 1591 420">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 420 1460 496">□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか</td> <td data-bbox="1460 420 1591 496">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 496 1460 570">□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか</td> <td data-bbox="1460 496 1591 570">○</td> </tr> </table>	[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	a	□衣服の清潔は保たれているか	○	□衣習慣が身に付くように支援しているか	○	□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか	○	□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか	○	
[No. 36] 子どもの衣服は適切に提供されているか	a										
□衣服の清潔は保たれているか	○										
□衣習慣が身に付くように支援しているか	○										
□発達段階や好みにあわせて子ども自身が選択できるようにしているか	○										
□必要な場合に、適切な衣服を貸与できるか	○										
【コメント】											
<p>子どもたちの洋服を職員が付き添いながら、子どもたち自らが選択することで、子どもたちの自己肯定感を支えるように配慮している。また、一時保護所職員にとっても子ども一人ひとりと向き合う時間として洋服選びの時間を位置付けており、丁寧な関わりが子どもたちに提供され、子どもと職員の関係を安定化させるだけでなく、子どもたちの一時保護所での生活を受容する契機となっている。</p>											
[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 853 1460 930">[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか</td> <td data-bbox="1460 853 1591 930">b</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 930 1460 1006">□就寝・起床時刻は適切か</td> <td data-bbox="1460 930 1591 1006">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 1006 1460 1082">□睡眠環境は適切か</td> <td data-bbox="1460 1006 1591 1082">△</td> </tr> </table>	[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	b	□就寝・起床時刻は適切か	○	□睡眠環境は適切か	△					
[No. 37] 子どもの睡眠は適切に行われているか	b										
□就寝・起床時刻は適切か	○										
□睡眠環境は適切か	△										
【コメント】											
<p>就寝時刻は未就学児20時、就学児は21時で、起床は7時とされている。ただし、21時以降であっても眠れない子どもも多く、その場合には、職員が個別に関わり、話をしたい子どもの話を聞いている。一方、子ども的人数が定員を超えている場合には、集団での就寝となり、睡眠の環境が一時的に損なわれることがある。個室化や規模の拡大などの対応が求められる。</p>											
[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 1342 1460 1419">[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか</td> <td data-bbox="1460 1342 1591 1419">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 1419 1460 1495">□子どもの健康状態が把握されているか</td> <td data-bbox="1460 1419 1591 1495">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 1495 1460 1572">□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか</td> <td data-bbox="1460 1495 1591 1572">○</td> </tr> </table>	[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	a	□子どもの健康状態が把握されているか	○	□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか	○					
[No. 38] 子どもの健康管理が適切に行われているか	a										
□子どもの健康状態が把握されているか	○										
□子どもの健康状態により、必要に応じて診察や処置を行っているか	○										
【コメント】											
<p>日々の検温、排便記録（幼児）等を実施し、健康状態を把握している。日々の情報は会計年度職員の看護師に引き継がれる。また1週間に1度嘱託医による健診を実施している。これらの情報により通院につなげていくが、成長記録での体重増加が見られたり、一時保護所での健康状態の把握を常勤看護師により実施することで、より細かな健康面での対応が可能になると考えられる。</p>											
[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	第三者 評価結果										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 1854 1460 1931">[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか</td> <td data-bbox="1460 1854 1591 1931">a</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 1931 1460 2007">□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか</td> <td data-bbox="1460 1931 1591 2007">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 2007 1460 2084">□在籍校との連携が図られているか</td> <td data-bbox="1460 2007 1591 2084">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="401 2084 1460 2160">□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか</td> <td data-bbox="1460 2084 1591 2160">○</td> </tr> </table>	[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	a	□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか	○	□在籍校との連携が図られているか	○	□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか	○			
[No. 39] 子どもの教育・学習支援が適切に行われているか	a										
□子どもの状況や特性、学力に配慮した教育・学習支援を行っているか	○										
□在籍校との連携が図られているか	○										
□通学可能な子どもへの対応について、通学機会の確保に努めているか	○										
【コメント】											
<p>教員の派遣もあり、3年間、一時保護所に教員として赴任が可能となっている。そのため教育や学習支援については全学年の教材、プリントが準備され、それらを使用することで子どもの学習の保障を行っている。また子どもの原籍校の教員が面会のために来所することも多く、学校側と児童福祉司で各種調整を行っている。</p>											

[No. 40] 未就学児に対しては適切な保育を行っているか	第三者 評価結果
[No. 40] 未就学児に対しては適切な保育を行っているか	a
<input type="checkbox"/> 発達の個人差、生活環境の差異、経験の差異を考慮した保育が行われているか	○

【コメント】

未就学児は同年齢集団にならないため、季節ごとの保育案を策定している。原則的には個別対応を行うこととして共通理解を一時保護所内で確認されているが、就学前に学習をした方が良い子どもも多く、積極的に未就学児への学習指導をしている。なお、おむつ交換時などは職員が1名のみになってしまう状況があり、今後、県と詰めていく必要がある。

[No. 41] 家族等との面会や、家族等に関する情報提供等は適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 41] 家族等との面会や、家族等に関する情報提供等は適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもの年齢に応じ、家族に対する支援や対応に関して説明を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもに対して行った情報提供や説明の内容について、関係者間で共有されているか	○
<input type="checkbox"/> 家族との面会等は、子どもの安全と安心、子どもの意志や気持ちを踏まえ総合的に判断されているか	○

【コメント】

家族への思いを口にしたことを、家族等に関する情報として位置付けている。そのうえで方針が決まってからカンファレンスで検討しているが、子どもの意向を尊重しつつ、家族面会を実施している。

5 特別なケアの実施 (NO. 42~49)

[No. 42] 子どもの性的問題に対して、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 42] 子どもの性的問題に対して、適切な対応が行われているか	a
<input type="checkbox"/> 受入時には、多職種によるカンファレンスを行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもの問題に応じた性教育などの支援を行っているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護所の子どもの中で、性的問題行動が起きた場合には、適切な対応が行われているか	○
<input type="checkbox"/> PTSD症状、訴えがみられた場合は、迅速に児童心理司、医師に報告し、適切な対応を行っているか	○

【コメント】

夜間、一人でトイレに行くように伝えたり、トイレから出てこなくなった子どもたちには心配だから声を掛けることを事前に子どもに伝えたりしている。適切な距離を意識することが子どもたちにとって重要であると考え、実践している。性教育については心理職から全職員に説明されており、心理職が集団指導を行っている。

[No. 43] 他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 191 569 267">[No. 43]</td> <td data-bbox="569 191 1460 267">他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 191 1591 267">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 267 1460 343">□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか</td> <td data-bbox="1460 267 1591 343">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 343 1460 420">□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1460 343 1591 420">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 420 1460 496">□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 420 1591 496">○</td> </tr> </table>	[No. 43]	他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	a		□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○		□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか	○		□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか	○	【コメント】
[No. 43]	他害や自傷行為を行う可能性のある子どもに対して、適切な対応を行っているか	a											
	□他害や自傷行為等の逸脱行為がある又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○											
	□アセスメントに基づく対応方針に応じたケアが行われているか	○											
	□他害等の逸脱行動があった場合の対応が明確になっているか	○											
個室がない中で、特性の強い子どもに対しての支援をどう設定するかを常に確認している。性教育全般の問題は心理司が把握しながら施設内で指導を行っている。													
[No. 44] 無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 759 569 835">[No. 44]</td> <td data-bbox="569 759 1460 835">無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 759 1591 835">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 835 1460 912">□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか</td> <td data-bbox="1460 835 1591 912">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 912 1460 988">□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 912 1591 988">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 988 1460 1065">□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 988 1591 1065">○</td> </tr> </table>	[No. 44]	無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	a		□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○		□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか	○		□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか	○	【コメント】
[No. 44]	無断外出を行う子どもに対して、適切な対応を行っているか	a											
	□無断外出を行う又は行う可能性のある場合には、その背景のアセスメントを実施しているか	○											
	□無断外出が発生した場合に、その子どもに対して適切な対応を行っているか	○											
	□無断外出があった場合には、その子ども以外に対しても適切な対応を行っているか	○											
無断外出が発生した際の連絡は、緊急連絡網で周知している。無断外出後に戻ってきた時は、どこに行っていたのかを聞き、職員が心配していたことと一緒に頑張ろうと伝えて、振り返りをしている。													
[No. 45] 重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 1327 569 1403">[No. 45]</td> <td data-bbox="569 1327 1460 1403">重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 1327 1591 1403">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1403 1460 1480">□一定の重大事件に係る触法少年と思料される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか</td> <td data-bbox="1460 1403 1591 1480">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1480 1460 1556">□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか</td> <td data-bbox="1460 1480 1591 1556">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1556 1460 1633">□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか</td> <td data-bbox="1460 1556 1591 1633">○</td> </tr> </table>	[No. 45]	重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	a		□一定の重大事件に係る触法少年と思料される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか	○		□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか	○		□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか	○	【コメント】
[No. 45]	重大事件に係る触法少年に対して、適切な対応を行っているか	a											
	□一定の重大事件に係る触法少年と思料される子どもの一時保護にあたっては、必要な手続き、支援体制の確保が行われているか	○											
	□重大事件に係る触法少年の一時保護に適切な居室が確保されているか	○											
	□重大事件の場合には、他児との関係に関する配慮を行っているか	○											
重大事件が生じた際には相談部門と協力して対応をしている。他児と関わることなく入れる個室が確保されている。重大事件のケースは、ほとんどない状況となっている。													

[No. 46] 身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 191 569 267">[No. 46]</td> <td data-bbox="569 191 1460 267">身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか</td> <td data-bbox="1460 191 1591 267">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 267 1460 343">□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか</td> <td data-bbox="1460 267 1591 343">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 343 1460 420">□葬儀等に参加させているか</td> <td data-bbox="1460 343 1591 420">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 420 1460 496">□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか</td> <td data-bbox="1460 420 1591 496">○</td> </tr> </table>	[No. 46]	身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	a		□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか	○		□葬儀等に参加させているか	○		□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか	○	
[No. 46]	身近な親族等を失った子どもに対して、適切な対応を行っているか	a											
	□身近な親族が亡くなったことを適切な時期に適切な方法で伝えているか	○											
	□葬儀等に参加させているか	○											
	□必要によりグリーフケアやモーニングワークを行っているか	○											
【コメント】													
一時保護中での事例はなく、施設入所児童で安全性を確保して葬儀に参列した事例がある。子どもへの説明は、保護者からするか担当福祉司からするかは、時期を逃さないように対応している。なお、各宗教に応じた対応ができるかは今後検討が必要としている。													
[No. 47] 被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 756 569 833">[No. 47]</td> <td data-bbox="569 756 1460 833">被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1460 756 1591 833">a</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 833 1460 909">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1460 833 1591 909">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 909 1460 988">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1460 909 1591 988">○</td> </tr> </table>	[No. 47]	被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	a		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	○		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○				
[No. 47]	被虐待児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	a											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	○											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○											
【コメント】													
子どもの養育環境や成育歴や受けた虐待状況等を職員間で把握、共有している。児相児童心理司との連携、嘱託医の診察、必要によって協力医師への受診、弁護士や法医学等のアドバイザーの利用もしている。受入を行った際に、安全にタイムアウトできる部屋や個室がないのが課題である。													
[No. 48] 障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 1248 569 1324">[No. 48]</td> <td data-bbox="569 1248 1460 1324">障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1460 1248 1591 1324">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1324 1460 1401">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1460 1324 1591 1401">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1401 1460 1477">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1460 1401 1591 1477">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1477 1460 1554">□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか</td> <td data-bbox="1460 1477 1591 1554">○</td> </tr> </table>	[No. 48]	障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○		□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか	○	
[No. 48]	障害児を受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○											
	□障害を有する子どもの受入にあたり、他の子どもに対する障害への理解を深めるなどの取組みがなされているか	○											
【コメント】													
障害児の受け入れについては、個室がなく身体障害に対応できる環境でないため、福祉型や医療型の障害児施設への一時保護委託をしている。発達障害児については、基本、一時保護所で受け入れている。言葉でやりとりの難しい子どもはカードを使ってコミュニケーションを図っている。感覚過敏の子どもを受け入れた際は、他の子どもに理解してもらえよう説明している。													
[No. 49] 健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	第三者 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="401 1814 569 1890">[No. 49]</td> <td data-bbox="569 1814 1460 1890">健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか</td> <td data-bbox="1460 1814 1591 1890">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1890 1460 1967">□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか</td> <td data-bbox="1460 1890 1591 1967">△</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 1967 1460 2043">□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか</td> <td data-bbox="1460 1967 1591 2043">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="569 2043 1460 2140">□服薬管理や医療行為は適切に行われているか</td> <td data-bbox="1460 2043 1591 2140">○</td> </tr> </table>	[No. 49]	健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b		□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△		□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○		□服薬管理や医療行為は適切に行われているか	○	
[No. 49]	健康上配慮が必要な子どもを受け入れる場合には、適切な対応・体制確保が行われているか	b											
	□受入を行った場合に、必要な支援が行える環境・体制があるか	△											
	□受入を行った場合には、対応方針に応じたケアが行われているか	○											
	□服薬管理や医療行為は適切に行われているか	○											
【コメント】													
医者や看護師が常駐していないため、自己注射等の医療行為をする子どもの受け入れは難しい。医療情報を基に看護師と生活上の留意点を確認しながら対応している。ストマや導尿等の管理が必要な子どもへの対応は、病院で研修を受けている。必要に応じて児相保健師に指導に来てもらっている。服薬管理は適切に行っている。													

6 安全対策 (NO. 50~52)

[No. 50] 無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか	第三者 評価結果			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 236 569 318">[No. 50]</td> <td data-bbox="569 236 1460 318">無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 236 1585 318">a</td> </tr> </table>	[No. 50]	無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか	a	
[No. 50]	無断外出の防止に努めるとともに、発生時の対応は明確になっているか	a		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 318 569 389"></td> <td data-bbox="569 318 1460 389">□無断外出があった場合の対応は明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 318 1585 389">○</td> </tr> </table>		□無断外出があった場合の対応は明確になっているか	○	
	□無断外出があった場合の対応は明確になっているか	○		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 389 569 461"></td> <td data-bbox="569 389 1460 461">□無断外出の未然防止に努めているか</td> <td data-bbox="1460 389 1585 461">○</td> </tr> </table>		□無断外出の未然防止に努めているか	○	
	□無断外出の未然防止に努めているか	○		
<p>【コメント】 無断外出の可能性のある子どもには、職員間で共有し動向の把握に努め、適宜声かけをしている。さらに感度を高くできるよう未然防止に努めたいとしている。発生時には、緊急対応のフローに沿って対応し、警察へ連絡している。</p>				
[No. 51] 災害発生時の対応は明確になっているか	第三者 評価結果			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 726 569 797">[No. 51]</td> <td data-bbox="569 726 1460 797">災害発生時の対応は明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 726 1585 797">a</td> </tr> </table>	[No. 51]	災害発生時の対応は明確になっているか	a	
[No. 51]	災害発生時の対応は明確になっているか	a		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 797 569 868"></td> <td data-bbox="569 797 1460 868">□火災等の非常災害に備え、具体的な避難計画を作成しているか</td> <td data-bbox="1460 797 1585 868">○</td> </tr> </table>		□火災等の非常災害に備え、具体的な避難計画を作成しているか	○	
	□火災等の非常災害に備え、具体的な避難計画を作成しているか	○		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 868 569 940"></td> <td data-bbox="569 868 1460 940">□避難訓練を毎月1回以上実施しているか</td> <td data-bbox="1460 868 1585 940">○</td> </tr> </table>		□避難訓練を毎月1回以上実施しているか	○	
	□避難訓練を毎月1回以上実施しているか	○		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 940 569 1021"></td> <td data-bbox="569 940 1460 1021">□日頃から、消防署、警察署、病院等の関係機関との連携に努め、緊急事態発生時に迅速、適切な協力が得られるように努めているか</td> <td data-bbox="1460 940 1585 1021">○</td> </tr> </table>		□日頃から、消防署、警察署、病院等の関係機関との連携に努め、緊急事態発生時に迅速、適切な協力が得られるように努めているか	○	
	□日頃から、消防署、警察署、病院等の関係機関との連携に努め、緊急事態発生時に迅速、適切な協力が得られるように努めているか	○		
<p>【コメント】 様々な想定をした避難訓練実施計画に基づき、避難訓練を毎月実施している。また、危機対応マニュアルについては、実情に合わせるよう改訂中である。</p>				
[No. 52] 感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか	第三者 評価結果			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 1286 569 1358">[No. 52]</td> <td data-bbox="569 1286 1460 1358">感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 1286 1585 1358">a</td> </tr> </table>	[No. 52]	感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか	a	
[No. 52]	感染症の予防に努めるとともに、発生時の対応が明確になっているか	a		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 1358 569 1429"></td> <td data-bbox="569 1358 1460 1429">□感染症の発生を防ぐための対策が講じられているか</td> <td data-bbox="1460 1358 1585 1429">○</td> </tr> </table>		□感染症の発生を防ぐための対策が講じられているか	○	
	□感染症の発生を防ぐための対策が講じられているか	○		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="399 1429 569 1510"></td> <td data-bbox="569 1429 1460 1510">□感染症が発生した場合の対応が明確になっているか</td> <td data-bbox="1460 1429 1585 1510">○</td> </tr> </table>		□感染症が発生した場合の対応が明確になっているか	○	
	□感染症が発生した場合の対応が明確になっているか	○		
<p>【コメント】 新型コロナウイルス対策は、感染症対策マニュアルに沿って、手指の消毒、手洗いの励行、換気等を行い防止に努めている。その他の感染症対策として、毎日の健康観察、幼児の検温、週1回の小児科医師の診察、職員の腸内細菌検査等を実施している。感染した際に対応できる個室がなく、医務室を使用している。</p>				

7 質の維持・向上 (NO. 53, 54)

[No. 53] 一時保護所の運営・業務に関する基本的な対応方針や手順は明確になっているか	第三者 評価結果
[No. 53] 一時保護所の運営・業務に関する基本的な対応方針や手順は明確になっているか	a
<input type="checkbox"/> マニュアル等が作成され、職員全体で共有や確認できる体制があるか	○
<input type="checkbox"/> マニュアル等の内容の実効性を高めるための取組が行われているか	○
<input type="checkbox"/> マニュアル等の内容に基づき、実施されていることを確認する仕組みがあるか	○
<input type="checkbox"/> マニュアル等の内容について見直し等が行われているか	○
【コメント】	
国の一時保護ガイドラインに基づき運営しており、現在、県の「一時保護のマニュアル」の作成を目指して検討を進めている。	
[No. 54] 一時保護所としての質の向上を行うための仕組みがあるか	第三者 評価結果
[No. 54] 一時保護所としての質の向上を行うための仕組みがあるか	a
<input type="checkbox"/> 自己評価が定期的に行われているか	○
<input type="checkbox"/> 外部評価の仕組みがあり、定期的に行われているか	○
<input type="checkbox"/> 自己評価や外部評価の結果を踏まえた質の向上のための取組が行われているか	○
<input type="checkbox"/> 職員間での共有や職員一体となった取組が行われるようになっているか	○
【コメント】	
自己評価は、自己点検票で毎月、支援評価票で年2回行って支援の振り返りをしている。自己評価を質の向上に結びつけられるようにしたいとしており、子どもアンケートや第三者評価を活用する等の取り組みに期待したい。	

IV 一時保健所における子どもへのケア・アセスメント（6項目）

1 アセスメントの実施（NO. 55, 56）

[No. 55] 保護開始にあたって、子どもや子どもの家庭に関する情報等が適切に把握されているか	第三者 評価結果
[No. 55] 保護開始にあたって、子どもや子どもの家庭に関する情報等が適切に把握されているか	a
<input type="checkbox"/> 一時保護を行うにあたり、子どもの家庭の状況、心身の状況、性格、成長・発達等の状況を十分に把握できているか	○
<input type="checkbox"/> 集団生活をさせても問題がないかの確認が行えているか	○

【コメント】

保護開始の前に、担当児童福祉司より子どもの情報を収集し把握している。特に、家庭に関する基本情報、発達状況、アレルギー、問題行動等を確認している。インテークの際も必要な情報の把握に努めている。集団生活の可否については、健康状態に関する情報を基に判断している。

[No. 56] 関係機関等と連携して総合的なアセスメントを行い、支援方針を決定しているか	第三者 評価結果
[No. 56] 関係機関等と連携して総合的なアセスメントを行い、支援方針を決定しているか	a
<input type="checkbox"/> チームで情報共有しながらアセスメントが行われているか	○
<input type="checkbox"/> 総合的なアセスメントに基づく個別援助指針（援助方針）が策定されているか	○

【コメント】

児童福祉司、心理司等と情報共有し、行動観察等の総合的なアセスメントしている。それに基づいて支援方針を立てている。但し、緊急で一時保護をするケースが多いため、事前のアセスメントは困難な場合もある。

2 個別援助指針（援助方針）の策定及び個別ケアの実施（NO. 57, 58）

[No. 57] 援助指針に沿った個別ケアを行っているか	第三者 評価結果
[No. 57] 援助指針に沿った個別ケアを行っているか	a
<input type="checkbox"/> 個別援助指針（援助方針）に基づく個別ケアを大前提とした子どもの養育・支援が行われているか	○

【コメント】

一時保護にあたり背景を把握し、子どもの観察点を明らかにし必要な支援について共有している。子ども一人ひとりの生活状況に合わせた養育支援を作成し対応している。受理会議や援助方針会議で決められた援助方針に基づき、インテーク、観察会議、所内カンファレンス等で随時確認しながら、対応している。

[No. 58] 一時保護中において、子どもの変化に応じた支援方針の見直し等が行えているか	第三者 評価結果
[No. 58] 一時保護中において、子どもの変化に応じた支援方針の見直し等が行えているか	b
<input type="checkbox"/> 子どもとの関わりを通じた子どもへのアセスメントを行っているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもの変化に応じた支援が行われているか	○
<input type="checkbox"/> 必要のない長期間の保護が行われていないか	△

【コメント】

観察会議や課内カンファレンス等で子どもの行動について見立ての共有をし、対応を検討している。子どもと積極的に関わり、生活の中で見えてきた変化を記録している。子どもの変化があった時は、随時検討し支援方針を見直している。一時保護が短くなるよう努めているが、里親とのマッチングや入所施設に空きがなく措置までにやむをえず時間がかかっているのが現状である。

### 3 子どもの観察 (NO. 59, 60)

[No. 59] 一時保護中の子どもについて、行動観察が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 59] 一時保護中の子どもについて、行動観察が適切に行われているか	a
□子どもの全生活場面について行動観察を行っているか	○
□子どもの行動観察の結果を記録しているか	○
【コメント】	
子どもの日常の生活場面において行動観察を行い、複数の視点から行動記録を作成している。今年度から行動記録は、健康、行動、学習、治療通院等の項目別に記載して、子どもの状況を的確に把握できるように努めている。	
[No. 60] 観察会議が適切に実施されているか	第三者 評価結果
[No. 60] 観察会議が適切に実施されているか	a
□職員は、業務引継を適切に行っているか	○
□観察会議を実施し、子どもの観察結果の検討・とりまとめが適切に行われているか	○
【コメント】	
日々の業務引継で子どもの行動観察の状況を共有している。毎週、課内カンファレンスを開き、適宜児童福祉司や心理司も参加している。入所後情報がまとめられた3週間を目途にカンファレンスを実施している。なお、交替制勤務のため、職員の日程調整が難しくなることがある。	

## V 一時保護の開始及び解除手続き(4項目)

### 1 開始手続き (NO. 61, 62)

[No. 61] 保護開始にあたり、必要な支援が適切に行われているか	第三者 評価結果
[No. 61] 保護開始にあたり、必要な支援が適切に行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもや保護者の状況等に応じた必要な支援が行われているか	○
<input type="checkbox"/> 日用品、着替え等を持っていない子どもに対しては、個人として所有できる生活に必要なものを支給又は貸与しているか	○
【コメント】	
保護にあたっては、相談部門と協力して子どもや保護者から聴取して、把握した情報を基に必要な支援を行っている。衣服は私物を使っているが足りない時は貸与している。日用品等は、保護所の備品等を貸与している。	
[No. 62] 一時保護中の子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 62] 一時保護中の子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもにとって心理的に大切な物については、一時保護期間中に子どもが所持できるよう配慮しているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護期間中、子どもが所持する物については、記名しておく等子どもの退所時に紛失していないよう配慮しているか	○
<input type="checkbox"/> 子どもが所持すべきではないもの、明らかに子どもの所持物でないものがあった場合には、適切に保管もしくは返還等が行われているか	○
【コメント】	
私物は紛失や破損等にならないよう所持物管理表に記入し、子どもの希望を聞いて使う物と保管する物を分けている。心理的に大切な物については、事務室で個人ボックスに収納している。私物を置く場所が手狭なことと氏名の記入方法等について、適切な方法を検討している。	

### 2 解除手続き (NO. 63, 64)

[No. 63] 保護解除にあたり、関係機関等に対し、必要な情報が適切に提供されているか	第三者 評価結果
[No. 63] 保護解除にあたり、関係機関等に対し、必要な情報が適切に提供されているか	a
<input type="checkbox"/> 一時保護の継続判断を行うために、必要な情報の提供をしているか	○
<input type="checkbox"/> 一時保護中に得られた子どもに関する情報を適切に引き継いでいるか	○
【コメント】	
一時保護中に得られた子どもに関する情報や支援状況は、担当児童福祉司等に円滑に伝えている。また、担当児童福祉司から適宜関係機関等に情報提供している。	
[No. 64] 保護解除にあたり、子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	第三者 評価結果
[No. 64] 保護解除にあたり、子どもの所持物について、適切な対応が行われているか	a
<input type="checkbox"/> 子どもの所有物は、一時保護解除時に返還しているか	○
<input type="checkbox"/> 子ども以外の者への返還は、適切に行われているか	○
【コメント】	
保護解除にあたり、入所時に預かっている子どもの所持物は、所持物管理表にて確認し確実に返還している。返還にあたっては、解除後のトラブルを避けるため、受領証を受け取っている。また、子ども以外の者への返還は、担当児童福祉司に確認しながら慎重に対応している。なお、所持物管理表については、見やすくするために改訂中である。	